

7月号

鳥が丘



横浜市立鳥が丘小学校

## マスク生活おつかれさま

児童支援専任 青木 直美

新学期がスタートして3か月たちましたが、今年度は、今のところ予定通り、授業参観・懇談会、2・3年生の遠足、6年生の社会科見学、土曜参観などの行事が行われました。そして、来週は6年生の修学旅行です。昨年度、一昨年度は、行事の度重なる延期、または中止ということもありましたので、予定通り行えることのありがたみを感じています。

さて、先週から3年ぶりの水泳学習が始まりました。感染防止対策で、プールサイドやプール内で密にならないよう、学年を2つに分けて行うことにしました。そのため、今年度は、最高学年の6年生と、小学校の水泳学習を経験していない中での最高学年となる3年生が、男女別に1時間水泳、1時間自習という体制で行っています。日々の水質管理や水泳学習を行っていないグループの自習体制の見守りは、他の教職員が交代で行っています。鳥が丘小3年目になる私は、鳥が丘の屋上プールで、気持ちよさそうに泳いだり、冷たいシャワーを少し驚きながら浴びたりしている、マスク無しの自然な子どもたちの笑顔を初めて見ることができました。そして、来年度は、全校児童が水泳学習を行えるといいなあと思った次第です。

2年前より、新型コロナウイルス感染症対策として、マスクの着用をお願いしていて、学校では、主に、給食を食べている時以外はマスクをしています。私は、5・6年の音楽を担当していますが、以前では考えられなかった、「マスクをして歌うこと」や、鍵盤ハーモニカやリコーダーを演奏する時は、「演奏が終わった直後にマスクをすること」が子どもたちの習慣となっています。

一方、最近では、熱中症対策として、暑さ指数(WBGT)が高い日や運動をする時にはマスクを外すよう指導しています。今までマスクをするように言われ続けた子どもたちは、今度は人前でマスクを外すことに抵抗感を示す場合もあります。今後は、時と場合に応じて、マスクをしたり、外したりするよう話して、感染症と熱中症両方の対策をしていきたいと思えます。

以前、ラジオで「本日もマスク生活お疲れ様でした」と言っているのを耳にして、とてもうれしかったので、思わず「ありがとうございます！」と言ってしまいました。大人でも1日中マスクをしていることは大変なことです。それを毎日続けている子どもたちは本当にかんがっていると思えます。子どもたちにも「マスク生活おつかれさま」と言いたいです。

これからも、子どもたちが笑顔で学校生活を送れますよう、教職員一同で見守っていきたく思います。引き続き、保護者の皆様、地域の皆様のご支援ご協力をお願いいたします。